

課題と対応方法について（先進地視察より）

分類	課題等	対応方法 ○：小中一貫教育準備委員会 ●：教育委員会 □：学校（教職員）	準備委員会における検討機関等
保護者 ・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・開校に向けた地域検討組織の設置 ・学校単位での説明会や会合を行い、みんなで子どもの未来を第一に考えて進めていくこと ・学校の統合が地域衰退に繋がらないよう各地域で考えていくこと ・地域性の尊重 ・（「こんな学校をつくる」という）情報の開示、説明による理解と不安解消 	<ul style="list-style-type: none"> ○「準備委員会」（施設整備、学校運営、学校教育の検討）の設置 ○「学校運営懇話会（仮称）」の設置基準の作成 ○ふるさと学習「かとう学（仮称）」の指導計画作成 ○ふるさと学習「かとう学（仮称）」への参画 ●年間学校行事予定の調整 ●地域住民への理解、協力の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ※組織一覧（別紙） 学校運営委員会 学校運営委員会 学校運営委員会
児童・生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・開校に向け、子どもが一緒になるための事前の交流活動 ・統合になじめない子どものフォロー ・現在行われている学校教育活動を精査し、子どもにとって良い活動は残すこと ・通学路、通学手段について 	<ul style="list-style-type: none"> □小小、小中間交流活動促進 ○校則の策定 ○生徒指導方針、学校いじめ防止基本方針の策定 □9年間の生徒指導・支援体制の構築 ○学校行事の計画・調整 □部活動指導検討 ○時程 ○通学路、通学手段の検討・調整 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営委員会 学校教育委員会 学校教育委員会 学校教育委員会 学校運営委員会
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの活動に配慮した設計（人数、発達段階、交流活動等） ・教員の意見を十分に反映した設計 ・保護者や地域住民にも配慮した設計 ・施設形態（一体型か併設型か）の早期決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○●教職員の意見を十分に反映した施設設計 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備委員会
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・一刻も早い小中教員の連携 ・リーダーシップのとれる管理職の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員配置計画の策定 ●「乗り入れ授業」指導計画の策定 ●教職員の意欲と資質能力の向上（説明会等） ●小中教員間の共通認識の醸成（研修、合同授業研究） ○□校務分掌の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育委員会
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・めざす一貫教育の説明（カリキュラム等） ・「将来の子ども」の視点で、新しいことに挑むことは重要。そのためには、今の学校教育を取捨選択することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○9年間のカリキュラム編成 □「家庭学習の手引き」作成 ●学校評価に係る指針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育委員会